

【専門教育関連科目/環境の理解】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
保健統計学Ⅱ	NSF44_001	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎	302	s.mochizuki	水曜日 12:30～14:00		
授業の目的・概要	人間集団や地域の健康課題に対して、その要因を見出し、健康問題解決へと繋げるために必要な保健統計学の理解を深める。また、公衆衛生看護の実践に不可欠なツールとして、単変量解析の考え方とスキルを身につける。リスク要因から予防までを扱う保健統計学について総合的に学ぶ。がんや生活習慣病、感染症の罹患と予防について学習しそれぞれの健康管理について理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	この授業では「保健統計学Ⅰ」で学んだ基本的知識が必要となるため、しっかり復習しておくこと。授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問し課題を解決すること。				
教科書	やさしい保健統計学 [改訂5版増補] /著:懸俊彦 /南江堂 /2019				
参考書	国民衛生の動向2022/2023 厚生省の指標増刊 /厚生労働統計協会 /2022				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	公衆衛生看護の実践に必要な保健統計学の基礎的知識を身につけている。		HSU (2)		
②	公衆衛生看護の実践に必要な保健統計学の基礎的技術を身につけている。		NS (2)(3)		
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	本科目のオリエンテーション 保健統計の必要性について学修する。	講義・演習	教科書第1章を予復習する。	2	
2	尺度と度数分布について学修する。	講義・演習	教科書第2章を予復習する。	4	
3	代表値(平均値・中央値等)・散布度について学修する。	講義・演習	教科書第3、4章を予復習する。	4	
4	相関と回帰、確率等について学修する。	講義・演習	教科書第5、6章を予復習する。	4	
5	確率分布、母集団統計値の推定について学修する。	講義・演習	教科書第7、8章を予復習する。	4	
6	仮説検定、分散分析について学修する。	講義・演習	教科書第9～12章を予復習する。	4	
7	人口動態、人口動態、統計図表の作成と分類について学修する。	講義・演習	教科書第13、14章を予復習する。	4	
8	【まとめ】 これまでのまとめを、保健師国家試験の過去問題を解くことで行う。	講義・演習	教科書で触れた部分を予復習する。	4	
試	【定期試験】 達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門教育関連科目/環境の理解】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
		0	0	0	0	10	10
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験：国家試験レベルの筆記試験を行う。				試験終了後、解答の解説を行い、授業のまとめを行う。
	②	✓					
	③						
レポート	①						
	②						
	③						
成果発表	①						
	②						
	③						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①	✓	授業に対する意欲や、積極的な姿勢を評価する。理由のない欠席は減点とする。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②	✓					
	③						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	行政保健師として8年間の勤務経験を有する。						
実践的授業の内容	担当教員の自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 保健師受験資格科目履修学生は必ず受講すること。 講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。 学生の理解度に応じ、講義・演習の速度や順番を調整する可能性がある。 						